公民館報 こすど

発行所 小須戸町公民館
新潟縣中蒲原郡小須戸町
印集發行 編刷人 矢部藤三郎

新春の言葉

獨立第三年の新春を迎えました事は皆さんと共に御同慶に堪えません。顧みるに昭和廿八年も仲々忙しい年でありました。衆參兩院議員の選挙、それに町議会議員の補欠選挙、更に又教育委員の選挙もあり賑かでありました。又町の事業として公営住宅の建設、保育園の新設等目下工事中でありますが、年度内には完成の見込であります。水道拡張工事も鵜出古木、下興野の全部に給水し、大變喜ばれております。

赤色々と大会がありまして、他府縣の人達も集まり、消費面に大分金を落して行かれたと思います。五月には全国花卉球根振興大会、七月には郡の社会福祉協議大会、九月には国保協議大会、十二月には二市五町八ヶ村の消防應援協議大会等があり何れも盛会でありました。最も大きな事業としては三校統一問題であります。之は教育委員、町議会と数回合同会議で検討し、満場一致で決議せられたので、更に町民各位の御協力を仰ぎ、近く第一年目の工事に着手したいと思います。更により以上に大きい問題は縣立病院の誘致であります。村山縣会副議長を始め郡選出縣議の方、それに郡町村会の委員の方の御協力に依り、過般の委員会及び縣会に採擇されました事は誠に喜びに堪えません。倘此の上は新年を迎えた清新の氣分を湧き起し、実現の速進に邁進したいと思いますから、町民皆さんの御支援と御協力を御願い致しまして新年の辞と致します。

小須戸町長　長谷川鉄太郎

盛大な成人式

記念預金 四〇万五千円余

二十九年度成人式は一月十五日、小須戸中学校で盛大に挙行された。二百八名の成人者が参列長谷川町長の式辞に村山縣会議員始め来賓多数の祝辞があり、成人代表者瀨津晃夫君の力強い宣誓があった。

記念品として昨年と同様金壱百円記入の貯金通帳が贈呈され、午後から記念行事として連合青年團の弁論大会が催された。

なお昨年贈呈された記念貯金の預入状況は次の通りで、実に四拾万五千円をこえるの輝かしい実績をあげ、今後も大きな期待がもたれている。

△当初（二十八年一月十五日）贈呈された人員　一八一名

△他町村へ轉出轉居の爲全部拂戻された人員　一七名

△当初から一回も預金しないもの　一名

△現在預金継続のもの　一六三名

△現在預金總額（十二月十五日現在　四拾万五千四百五拾円

一人平均預金全額弐千四百八拾八円である

郡剣道大会に

青年團の活躍

先般白根町小学校で開催された中蒲原郡青年剣道大会は、数年ぶりの催しとて盛会で剣尖火を吐くの熱戦が展開され、本町からも多数参加し次の諸君が入賞した。

個人有段者

一等　高野藤一

二等　吉田堅太郎

個人無段者

三等　加藤友春

團体

一等　小須戸チーム

吉田德義　高野藤一

吉田堅太郎　高野勉

加藤友春

水稲共進会に入賞

高野嘉一氏の誉

二十八年度中蒲原地方事務所主催の水稲多収穫共進会に二三二点に及ぶ多数の人が参加したが、本町横川の高野嘉一さんが二等に入賞され、一月二十日事務所に於て表彰式が開催された。尚一等は新津の斎藤さん一名、二等は高野さんと新津の石崎さんの二名であった。品種は北陸五二号（短稈多蘖多収性、稲熱病に稍弱い）で坪刈成績四石二斗余という輝かしい成績で、日頃の熱心さと一年の労苦が実を結んだ訳である。詳しい事は本人なり又は改良普及員にお問合せの上、高野さんに負けぬ良成績をあげられん事を望む。

横水分館だより

一、洋裁学級

一昨年迄は農閑期を利用した多季間（十一月より三月）の短期講習であったが昨年度から研究生の熱心な要望にこたえて、通年制として開講しているが、更に余暇のない方々の爲に多季間の短期講習も開講、十二月一日から二部組織で授業を行っている。受講者も良き主婦を又良き花嫁を目指して近頃の寒さにもめげず熱心な努力を続けている

二、一般学級

女子の洋裁学級にまけず各部落毎に開講し、最もよい課程のもとにそれぞれ修養につとめている。

梅ほころびて　吉田起風

役場人事異動

任收入役（厚生課長）　横山五郎

厚生課長（経済課勤務）

命主事　佐久間忠一

税務課長（税務課長代理）

命主事　太田熊吉

経済課（税務課勤務）　早川清志

山ノ手保育園

近く竣工

長い間の要望であり懸案であった山の手保育園も、先般村福組の手で延坪八九坪一二五万円の予算で建設中であるが、その竣工事も順調に進渉して一月廿五・六日頃迄に竣工の予定である。開園のあかつきは山の手地方の一般家庭もさる事ながら、農繁期における通園幼児にも大きな福音をもたらすものとして大きな期待がかけられ、一日も早く開園される事が望まれている。

寄附三つ

下町、上田ことさんは例年の通り擧行によって得た浄財一、三〇〇円を

諏訪町、天理教主藤田勘太郎さんは一六〇円を

町連合婦人会は内野町大火見舞金として金五千円

それぞれ寄附があった。

新校舎工事始る

学校統合も愈々本ぎりとなり工事に着手したが第一段階として先般敷地二五〇〇坪の整地を金三十五万円で名古屋組に落札着工中で、校舎も二十七日説明会を開いて三十日頃入札の予定である。

正月大賣出し

時計
メガネ
ハーモニカ
万年筆

砂井時計店

一度使って見て下さい
プラチナ高級万年筆

自転車 荷車鑑札
嚴重取締り

あなたの自轉車、荷車には鑑札が取付けてありますか、もし取付けてない自轉車、荷車がありましたら至急取付けられるようおすゝめします。

今度自轉車、荷車等の鑑札取締り規程ができまして、警察と役場が嚴重に取締りますから、皆さんの協力をお願いしております。

小須戸町自轉車荷車鑑札取締規程

第一條　小須戸町自轉車荷車鑑札取締規程に就では法令その他特別の定めあるものを除く外はこの規定による

第二條　小須戸町賦課徴收條例第八十條及び第九十五條に依る鑑札を取締る爲、本規程を設けるものとする

第三條　自轉車及び荷車を所有した者が申告を怠り、鑑札の取付けを受けない時は法第四百四十九條及び第四百七十一條の規定する処により、金五百円の過料を科する

第四條　小須戸町賦課徴收條例第三條による徴税吏員はこの鑑札の取締りを行う

但しこの取締りを警察に委囑する事ができる

第五條　第三條に規定する過料は、徴收令書により一週間以内に納入せしむものとする

但し過料を滞納した時は之を国税徴收法により徴收する

附　則

本規程は昭和二十八年九月一日より施行する

原動機付自轉車

原動機付自轉車類は小須戸町條例の定める処により年額四百円で、鑑札は町で規定する原動機付自轉車鑑札を取付けねばなりません。普通自轉車鑑札では違反になりますから注意して下さい。

福祉協議会の

新旧年末慰問

小須戸町福祉協議会では年末慰問として、新年末には被保護世帯全部にわたり金百円と醤油一升ずつを贈って慰問したが更に旧年末に際しても留守家族に五百円ずつと困窮世帯に対してはのし餅を贈って慰問し、いつもながらとはいえ大変に感謝されている。

書道講習會

期　日…２月１日

会　場…小須戸小学校

小須戸風土記

（殿様から表彰された人達）

いつの時代でも政治を行う人達は、人心をしっかりおさえるこつを心得ていて 文化、経済、産業振興等あらゆる面で貢献した功労者や他の模範としてたる善良な人達を表彰する事を忘れませんが徳川時代の藩領政策も現代と變りなく、之等の良民を表彰しています。小須戸町にも殿様から表彰を受けた人達が随分おります。

○文政五年五月十日

小須戸町借屋五兵衛後家姑へ孝行に付米三俵被下

○安永七年三月十二日

新津組矢代田村百姓兵右衛門兩親存命中孝行並に村役人申付候諸事大切に相勤候に付米七俵遣下

○文久元年十二月

龍玄新田医者玄貞併妻老母へ孝行貞実に付米一俵被下

子が親にこんな貧乏の処へなぜ生んで呉れた等と文句を付ける現代と違って忠孝を最も善良の風俗とした。その中の親孝行として以上の人達は表彰を受けた人達です。

○天保三年四月五日

横川村組頭吉兵衛祖父九十才に付米三俵被下

○仝年

新津組鎌倉新田定助母八十八才自身織立候木綿一反差上候に付米一俵被下

○天保七年十月

新津組天ヶ沢新田佐平次八十三才に相成鰥夫に付御手当として米一俵被下

之は高令者の表彰ですが昔から敬老会はあったようです。殊に鰥夫の手当に就ては今の民生事業と變りがないようです。

○文政三年十一月廿一日

小須戸組鵜出古木村長左衛門（岡田氏）農業出精暮し方質素に付鳥目壱貫文被下

今の篤農家です。

○文化二年二月十六日

小須戸組水田村名主太藏父権之助去る八月晦日大水之砌村方人足召連早速罷出壮年之者同様相働堤通急難場防留候段　極老之処奇持に付鳥目壱貫文被下

治水功労者として表彰されたものです。

○文久元年十二月

小須戸町八兵衛兩親へ孝方宜常に御上を尊敬致し年來恩沢を奉報度心掛より溜置候銅銭三十貫文享保金壱分差上奇特に付米三俵被下

まったく奇特の至りで献金で表彰されました。

○享和元年十二月十一日

新津組天ヶ沢新田百姓定八年貢米之内手作之糯穀並野菜之品物を銘々小袋に致し入置石俵沼垂御藏にて廻じ俵に相当御礼有之処平生至って篤実にて村方交り宜其の上右初物取置不申内は右之品私用に不相田先年も兩度迄右奇特之訳にて御稱美米金被下候者にて二十ヶ年余不怠御上を尊敬致し世間稀成事共奇特之至に付米五俵被下其の身一代御年貢米併諸掛り免除仰付

まだ色々の功績で表彰を受けた人達がありますが前記の人達は特に溝口家の公文書に記載された名誉ある表彰者です。殊に天ヶ沢の定八は其の身一代御年貢米併諸掛り免除等は溝口家三百年の記録中類のないもので、殿様も余程感心されたものだと思います。

絶對的なこの好評！

ゴム靴　ゴム合羽

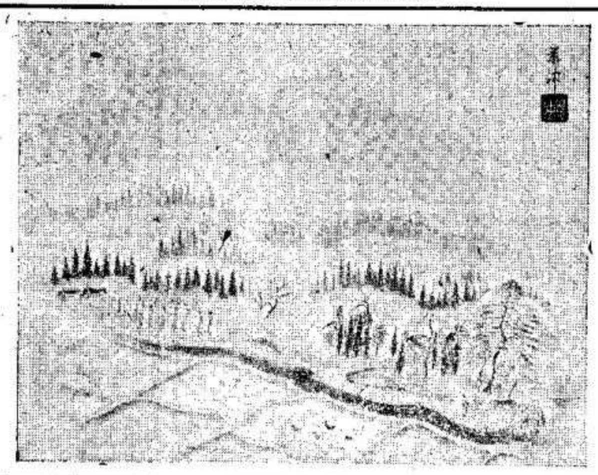
小須戸町横川

横山履物店

食生活と農業經營

副業にあくせくしているようでは、農業の発達や経營改善が期待できないのはなぜか？、農業で食ってゆけないから副業で金を儲けようというのであるが、その爲に本來の農業の改善はなおざりになるからである。
養鶏をやっても乳牛を飼ってもそれを副業と考え卵や乳を賣って金を儲けようとしている中は経営の改善にはならない。卵や乳の値段が安くなればすぐ投出そうとするからである。それを金儲けの爲の副業としてではなく、その経営規模に應じた土地生産物の飼料化と家畜肥料の土地還元との循環の上に立った全体としての経営の不可分の一環としての養畜をとり入れる時に、初めて経営の改善となり合理化となるのである。
そうすれば少し位の手足がいたんでも、誰も自分の身体の一部分を切り離さうとするものはないように、牛乳や卵の値が安くなったからと云って、全体の経営の重要の部分を切り離さうとはしないであろう。大体今迄のような米麦中心の主穀農業ような副業を必要としたのは、ちょうど米麦の粒食制が副業を要求したのと同じである。
主穀農業が合理化されて近代的な有畜輪作経営に轉換する事によって始めて肉や卵や牛乳が安く豊富に供給される條件がそなわる事になる。だから食生活の改善は単なる郷土食の工夫や、台所の改善等から生れるものではない。根本は農業経営の改善にある事を忘れてはならぬ。しかし根本はそうであっても、一挙に経営の近代化がむずかしいように、食生活の轉換もおいそれと出來る事ではない。
そこで食生活の担当者としての婦人の自覚と努力によって、農村の食生活を改善してゆく他はない農村婦人解放によって婦人の時間的余裕がなければ、いかなる栄養食の材料を用意した処で無駄である。まず栄養の知識を身につけ、調理を工夫するに足るだけの時間的余裕が与えられなければならない。
現状のように農繁期の婦人が、十二時間も野良仕事に酷使されるようでは一家の栄養も亦不可避である。台所の改善によって家事労働の合理化も必要であるが、根本は農業技術の向上によって婦人を過労から解放する事である。そうして婦人の努力を一家の食膳を豊富にする爲の家畜の世話や、菜園の手入のほうに向けさせる事だ。
之迄の農家は賣る作物の手入は熱心だが、自家用蔬菜等の栽培には比較的無関心の者が多かった。篤農や精農と呼ばれる人ほど土地や作物を肥やすには熱心だが、自分自心を肥す事を忘れていた証據が、こんな処にもあるようだ。このように自家用菜園への無関心と蔬菜類の貧弱さが、農家の食膳をよけい貧しく偏食にした事を思えば、之が改善は今すぐにやろうと思えば出來るのである。
では、手足のない片輪の経營であって、農業だけで食ってゆけないのは当然であり、之に松葉杖の

農村は四季不断に新鮮な蔬菜の供給に不自由はしない筈である。都会の青物市場ばかり多彩にして農家みずからの食膳に上げる野菜を貧困にして顧みないのは、農業経営自体の欠陥からであるまいかと思う。又農家の食生活を守るべき担当者たる婦人の責任でもある。（新津地区普及事務所）



日	月	火	水	木	金	土
×	1	2	3	4	5	6
7	8	9	10	11	12	13
14	15	16	17	18	19	20
21	22	23	24	25	26	27
28	×	×	×	×	×	×

商工企業
早期の診断

ある様でないのが金。
利益あって金たらず
経營の合理化成では出來ない
商賣繁昌はたれもがのぞむ
大事な記憶は出來ぬと言う
思案にかまわず時勢は走る
企業資本と必要資産をとく〳〵見れば左表の通り当店は当社はと比較して確実に営業状態が良い悪いを判断出來れば万点〃あなたはどちらでしょう正しい融資で堅実に十分利用の上、各個に自主性を早くもって下さい。
個々の繁栄は町の発展
通貨政策もデフレ、インフレに苦しみ、どう變りますか

産業育成資金
信用　保証

企業の資本より見た資金構成　單位万円

資本金	人員	收益	必要資金	不足額
20	1	10	23	3
40	2～4	26	50	10
90	5～9	65	110	20
168	10～19	120	210	42
240	20～29	200	310	70

国民金融公庫
中小企業金融公庫
病氣も早期診断
企業も早期診断
商店診断
工場診断
町経済課に御相談下さい

二月の暦

きさらぎ（如月）（ラテン語、清めの月）
日出　六・三九分　日入一七、一一分
この月は当地方の正月（中暦）で楽しく又年始その他でいそがしい月。また今月は各上級学校の入学願書受付、進学準備等で家庭では心をくだく月である。

△**三日　節分**　節分は昔「ついな」といって宮中儀式の一つであったものであるが、だんだん民間に移り、今では神社、寺院、各家庭で福は内鬼は外の豆打ち行事が賑かに催される。

△**四日　立春**（旧暦一月一日）
月出　六・四七分　月入一七・五五分
立春、東洋ではこの日から春になるといわれていたが、実際は桑の上だけで又厳多の候といったほうが確かで、春まだ遠しといった感である。

△**七日　初午**　正一位稲荷大明神のお祭で赤い鳥居が賑う。

経済と時局講演会

二十日、公民館では緊縮予算による現下の経済事情や、今後の見とうしに就て山一証券株式会社の支配人を招いて、経済座談会を開催すから多数の御來聴を歓迎する。

×　×

七日、新潟日報論説委員中沢惣吉氏を講師に時局講演会を開きますから、多数皆さんの御出を乞う

×　×

三月十日、横水分館では新潟日報主筆松井敦氏を講師に、時局講演会と座談会を開きますので、皆さん多数の出席をお待ちしております。

みどり会の新年大会

小須戸町みどり会では例年の通り七日総会をかねて新年大会を催し新潟縣中央兒童相談所長風間忠夫氏を招いて講演会を開き、余興に映画幻灯等の映写をやり、更に会員全部が一名残らず各かくし芸を行って、一年の労苦を今日一日の行樂でけし飛ばす計画。

おいらが正月…
楽しい催しもの

一日　書道講習会
七日　卓球大会
十日　時局講演会
多数皆さんの御來聴を望む
十三日　幻灯コンクール　午後七時　新保校で
十四日　かるた大会　午前九時　公民館で
・団体は四名一組で　かるた御持参下さい
十五日　麻雀大会　午前九時　公民館で
十六日　かくし藝大会
午前九時小須戸校　振って出演下さい
（申込みは公民館へ）
入場先着千名に福引券を呈上
廿一日　囲碁　將棋大会　午前九時　公民館で

伸びゆく小須戸
桜木町の誕生

年と共に町営住宅の建設数を増して伸びゆく小須戸町の姿を雄辯に物語り、誠に喜ばしい限りである。一昨年以來五番町裏堤防そいに建築中の住宅も、その数実に二十七戸にいたり、水道工事その他の諸施設も全部この程完工したので、町では「櫻木町」と命名した。之でまた一町内がふえたわけで、町全戸数は実に二千三百戸になんなんとする発展ふりである。

×　×

俳句
小須戸町俳句同好会

物あれば影ありそこに秋の声　晉郎
万丈の腰高障子鵙の秋　山葵
紅白の幔幕幌りて菊くらべ　渓灯
冬近き池に杉葉のこぼれつぐ　多川
桐の実やたまにはグライダー屋根を越す　狼影子
夕陽や墓地より抜けて街に出る　越樓
デパートに陽だまりありて秋の声　まつし
秋の声ここに日向を投げくれし　静花
桐の実の重たさうなる雨の中　ひさ
秋の水灯影をきざみつゝ流れ　虚秋
朝陽に月は残墟となりて洸つ　泰浪
久々の憩なるかな菊くらべ　水尾
入賞の菊リヤカーにいたわりつ　洸水

金婚式を迎えて

まつのはで　まぼろしの間に
五十年　さきは　無量の樂しけり
七十翁　鈴木清三郎

超過供出　三〇五八石余
匿名供出にも御協力を

今年はムラの多い天候で、農家も之に對應して苦労も並大抵のことでなかった事と思われる。だが種々の悪條件を克服したとはいえ、従って作柄もムラが多かったと云われた。それでも農家の供米意慾は盛んで、昨年十二月三十日現在（農協調）で割当六、四五六石に対し九、五一四石一斗七合で、超過供出実に三〇五八石一斗七合。供出率一五七％という輝かしい金文字塔をうちたてた。更に近く匿名供出が行われる事になっているので之にも全農家の十二分の協力をお願いしたいと、農協では大きな期待をもっている。

皆さん尚一層のお協力をお願いする次第である。

なぎさ

楽しいお正月が参りました。毎年の事でございますが、春になりますとあちらからも、こちらからも色々のカレンダーや暦を競争のようにいただきます。昨年などは私の家では一部屋に一部づつ掛けましてもまだ余る程沢山貰いました。それは無いよりましかもしれませんが、あまり沢山貰っても無用の長物になるのでしょうが商店や業者の方方もその時の情勢にもよりましょうが、お金に大差がなかったら一本の手拭、一枚のフキンの方がどれ程か御得位様に喜ばれる事と思います。新春早々小言めいて悪いのですが、御参考までにはしたない考えを書いて見ました。（一主婦）

×　×

さき程役場から町税の滞納利子の通知をうけました。誠におもっともの事と思います。だが考えてみると私共商人やその他も同様の事でしょうが、納入した品物代やその外の支拂が大變遅れ、甚しいのになると数カ月後にやっと支拂を受けた事がだいぶありますが、之に対しても相当の利子を拂って下さる事と思いますが、之には何の通知も受けておりませんが、何たか片手落の感じが致します。取るものをとったら拂うべきものも同様拂っていただけるものと思います政治はすべてのものに絶対に公平でなければならないものと考えます。ほんとうに割れ切れない氣持で一パイです。（一商人）

珠算大会

期日…三月上旬
期日決定次第ポスター等で発表
主催　公民館

郵便貯金のいろいろ

安全で便利でしかも有利といわれる「郵便貯金」のいろいろ

1 **定額貯金**　利廻りがいちばんよいといわれ、最高利廻り（八分六毛）
2 **積立貯金**　二カ年計画で樂しみながらつめる、しかも集金にお伺いするという利廻り（四分二厘）
3 **集金貯金**　居ながらつめて出し入れも自由で、之も集金にお伺いする　利廻りは（三分九厘六毛）
4 **普通貯金**　出し入れ自由な普通貯金で　利廻りは（三分九厘六毛）
5 **團体貯金**　会員皆さんで樂しみながら積立てる　之も集金にお伺いする　利廻り（三分九厘六毛）

ヒドリ号
無期限　保証付
總ベアリング防水装置
坂井輪店
電話170番

ナショナル
ラジオ　電氣具
化粧品　食料品
濱屋
二番町　電112

茶
万年筆　文具
キムラ
四番町　電話45番

肉
牛　豚
たまき
神明町　電話2番

御寫眞
吉田寫眞館
一番町　電話39番